

2013 C T 本試 地理 について

地理B第1問 (配点16点、2・6が各2点、他は各3点)

正解 解説etc.

- 問1 1 ② 基本問題
 ①＝×←(∴)－北極附近は高压帯、赤道附近は低压帯 ※付近は附近としたい
 ③＝×←(∴)－極東風→偏西風
 ④＝×←(∴)－湿潤→乾燥
- 問2 2 ② 基本問題
 ②＝×←(∴)－赤道と北緯20度との間には沙漠は存在しない
 ※タール沙漠の位置はカチャワル半島の北
- 問3 3 ③ 基本問題
 ア＝B＝シカゴ ←(∴)－Dfa
 イ＝A＝サンフランシスコ←(∴)－最暖月9月・Csb
 ウ＝C＝ワシントン.D.C←(∴)－Cfa

	都市	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	緯帯間
172	Washington(5m) (38° 51' N, 77° 02' W)	2.3	3.9	8.2	13.8	18.9	24.1	26.6	25.6	21.7	15.3	9.8	4.3	14.5°C	1981-2010
		74.5	63.8	90.9	78.3	101.2	97.0	92.7	74.2	95.3	86.2	83.1	76.8	1014.0mm	1982-2010
174	San Francisco(6m) (37° 37' N, 122° 23' W)	10.1	11.6	12.7	13.8	15.3	16.8	17.5	18.0	18.2	16.4	13.2	10.3	14.5°C	1981-2010
		100.7	105.8	70.3	32.3	14.4	3.1	0.1	1.1	4.4	22.8	58.6	103.5	517.1mm	1982-2010
177	Chicago(203m) (41° 59' N, 87° 54' W)	-4.6	-2.4	3.2	9.3	15.0	20.5	23.3	22.4	18.2	11.4	4.6	-2.3	9.9°C	1981-2010
		44.3	44.9	63.8	81.3	92.9	86.7	91.7	123.2	82.5	80.8	79.9	55.5	927.5mm	1982-2010

(『理科年表 2012(H24)』)

- 問4 4 ④ 基本問題
 ①＝K ※ツバル
 ②＝J ※アイスランド
 ③＝L ※メキシコ湾岸油田
 ④＝M ※プエルトリコ海溝
- 問5 5 ④ 基本問題
 カ＝R←(∴)－入江＝フィヨルド
 キ＝S←(∴)－入江＝三角江
 ク＝Q←(∴)－河川＝チャオプラヤ川
- 問6 6 ② 基本問題
 a＝X地域＝アフガニスタン～イラン＝○ ※地下水路＝カレズorカナート
 b＝Y地域＝大鑽井盆地＝×←(∴)－大規模灌漑農業は存在しない
 ※塩分濃度の高い地下水なので灌漑には不適

地理B第2問 (配点18点、各3点)

正解 解説etc.

- 問1 7 ⑤ 基本問題
 A＝●・○＝中国←(∴)－第1次産業の比率が大
 B＝■・□＝日本 ←(∴)－第3次産業の比率が小
 C＝★・☆＝アメリカ合衆国←(∴)－ " 大
- 問2 8 ② やや難

- ④=フィリピン ←(∴)-第3次産業就業者割合50.3%
- ③=アラブ首長国連邦←(∴)-消費関連サービス23.0%
- ②=スイス ←(∴)-生産関連サービス24.2%
- ①=デンマーク ←(∴)-社会関連サービス42.6%

問3 9 ⑥

- 基本問題
 ア=綿織物生産量 ←(∴)-日本無印
 イ=パルプ生産量 ←(∴)-北欧(スウェーデン・フィンランド)に印
 ウ=工作機械生産額←(∴)-日本・ドイツの印が大きい

問4 10 ②

- ④=メキシコ ←(∴)-GDPに占める研究開発費の割合0.4%=最小
- ③=アメリカ ←(∴)-バイオ技術に関する特許件数4,385.4件=最大
- ②=韓国 ←(∴)-研究開発費・特許件数が多い
- ①=フィンランド←(∴)- " " 少ない

問5 11 ⑤

- ク=出版・印刷業 ←(∴)-1960年、2000年ともに東京が一番
- カ=食料品製造業 ←(∴)-北海道に印有り
- キ=電気機械器具製造業←(∴)- " " 印無し

問6 12 ①

- 竹難
 ①・②=情報通信業・農林漁業←(∴)-全従業者に占める割合が小さい
 ③・④=卸売・小売業・製造業←(∴)- " " 大きい
 ①=情報通信業←(∴)-県庁所在都市集中度が幅広
 ②=農林漁業 ←(∴)- " " 小さい(=下方に集中)
 ③=卸売・小売←(∴)-分布が20~25%に集中
 ④=製造業 ←(∴)-分布具合が散漫

地理B第3問 (配点17点、14が2点、他は各3点)

正解 解説etc.

問1 13 ②

- ①・②=コペンハーゲン・シドニー←(∴)-年間労働時間が少ない
- ③・④=ソウル・ホンコン ←(∴)- " " 多い
- ①=コペンハーゲン←(∴)-外国人居住者に占める留学生の割合が少ない
- ②=シドニー ←(∴)- " " 多い
- ③=ホンコン ←(∴)-外国人居住者の割合が多い
- ④=ソウル ←(∴)- " " 少ない

問2 14 ①

- ①・③=東京・ニューヨーク←(∴)-高層ビルの数が多い
- ②・④=パリ・ロンドン ←(∴)- " " 少ない
- ①=東京 ←(∴)-国際会議の開催件数が少ない
- ③=ニューヨーク←(∴)- " " 多い
- ②=パリ ←(∴)- " " 多い
- ④=ロンドン ←(∴)- " " 少ない

※②・④の判定は難しい。

問3 15 ④

- 基本問題
 ④=×←(∴)〒林地村は路村で、同心円状の配列ではない。
 ↳ " " 道路から宅地・耕地・森林の短冊状の配列
 問題文は円村=環村の説明

問4 16 ④

- ①・②=高級住宅地・中級住宅地←(∴)-中心業務地区隣接の平坦地
- ③・④=低級住宅地・不良住宅地←(∴)-斜面に分布

- ①＝高級住宅地←(∴)－面積が一番狭い
- ②＝中級住宅地←(∴)－平坦地に広く分布
- ③＝低級住宅地←(∴)－都市外縁部
- ④＝不良住宅地←(∴)－都市最縁辺部

※メキシコシティはアナワク高原上の盆地に位置する高山都市であり、標高の低い所が酸素濃度も高い好位置になる。不良住宅地が好位置に立地するわけがないので④が正解。

問5 17 ③

- ①・②＝アメリカ合衆国・日本←(∴)－発行部数が多い
- ③・④＝ブラジル・マレーシア←(∴)－ " 少ない
- ①＝日本 ←(∴)－発行紙数が少ない
- ②＝アメリカ ←(∴)－ " 多い
- ③＝ブラジル ←(∴)－ " 多い
- ④＝マレーシア←(∴)－ " 少ない

問6 18 ①

- 基本問題。中学生でも正解可能
- ①＝ボリビア←(∴)－中央に首を通す穴のあいた毛織の布の上着＝ポンチョ
- ②＝イラン ←(∴)－髪や身体のラインを隠すような被り物＝チャドル
- ③＝ベトナム←(∴)－胴衣までの深いスリット＝アオザイ
- ④＝モンゴル←(∴)－帯を締めることで防風・保温＝デール

地理B第4問 (配点18点、各3点)

正解 解説etc.

問1 19 ①

- 基本問題
- ①＝×←(∴)－通年貿易風帯に入ることはない、冬季に偏西風帯に入る

問2 20 ③

- エ＝④＝カイロ ←(∴)－降水の絶対量が少ない
- ウ＝③＝ラバト ←(∴)－最寒月10℃超←(∴)－ア・イ・ウ中最低緯度
- ア＝①＝マドリード←(∴)－年較差大←(∴)－内陸地
- イ＝②＝ローマ ←(∴)－ " 小←(∴)－海に近い

	都市	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	緯度間
017	Madrid(66m) (40°24'N, 03°40'W)	6.2 34.4	7.8 35.1	11.3 25.1	13.0 43.1	16.8 51.6	22.1 21.3	25.5 11.9	25.1 8.9	20.8 21.6	15.1 65.1	9.8 63.2	6.8 55.6	15.0℃ 436.9mm	1982-2010 1982-2010
039	Roma(4m) (41°48'N, 12°14'E)°C 706.6mm	1981-1996
027	Roma(2m) (41°48'N, 12°14'E)	8.4 74.0	9.0 73.9	10.9 60.7	13.2 60.0	17.2 33.5	21.0 21.4	23.9 8.5	24.0 32.7	21.1 74.4	16.9 98.2	12.1 93.3	9.4 86.3	15.6℃ 716.9mm	1971-1991 1991-1996
114	Rabat(74m) (34°02'N, 06°45'W)	12.0 86.9	12.8 61.0	14.8 52.7	15.7 39.2	18.2 14.7	20.8 3.4	22.7 0.6	23.0 0.8	21.6 13.7	19.0 50.6	15.5 87.2	13.3 102.9	17.5℃ 513.7mm	1988-2010 1988-2010
125	Cairo(116m) (30°06'N, 31°24'E)	14.1 7.1	14.8 4.3	17.3 6.9	21.6 1.2	24.5 0.4	27.4 0.0	28.0 0.0	28.2 0.3	26.6 0.0	24.0 0.1	19.2 6.4	15.1 7.9	21.7℃ 34.6mm	1981-1995 1981-1998

(『理科年表 2012(H24)』、『理科年表 2006(H18)』)

問3 21 ②

- ク＝△＝ブドウ ←(∴)－ローヌ河谷・メドック ※ブドウは葡萄としたい
- カ＝●＝柑橘類 ←(∴)－スペイン東海岸 ※バレンシアオレンジは著名
- キ＝◇＝ワタ(綿花)←(∴)－ナイルデルタ

問4 22 ③

- 基本問題
- サ＝B＝アルジェ辺 ←(∴)－石油精製工業
- シ＝A＝ツールーズ ←(∴)－航空機生産
- ス＝C＝第三のイタリア←(∴)－皮革製品や繊維製品

問 2 ⑤

ア=▲=徳島 ←(∴)-冬季の日照時間が多い
ウ=×=会津若松←(∴)- " 一番少ない←(∴)-降雪の影響
イ=○=宮古島市←(∴)-7月の日照時間が多い←(∴)-梅雨が明けている

問 3 ①

①=×←(∴)-図西部の黒崎辺は水田が住宅地に変化
②=○←(∴)-小鳴門橋
③=○←(∴)-工場や競艇場
④=○←(∴)-航路3→2

問 4 ④

カ=A、キ=B
サ=A、シ=B

問 5 ③

基本問題、中学生でも正解可能
タ=高速バス←(∴)-開通後増加
ツ=船舶 ←(∴)- " 急減
チ=航空機

問 6 ②

②=×←(∴)-写真ではどこから進出したかは判読できない

地理A第1問 (配点24点、各3点)

正解 解説etc.

問 1 ③

出題の意図(?)通りに答えれば正解は③だが……
A=×←(∴)-正距方位図法は図の中心からの距離と方位が正しい
B=△
a「任意の2地点間を結ぶ直線直線と経線の角度が正しい地図は正角図」=○。
b「航海用の海図に適している」=△
出題の意図はaでメルカトル図法を想起させ、b=○←(∴)→B=○
正角図にはメルカトル図法の他に、ランベルト正角円錐図法、平射図法がある。
ランベルト正角円錐図法や平射図法を用いた海図があるのだろうか?
もし、ランベルト正角円錐図法や平射図法の海図が無いのなら、Bの文章は誤解を招く文章だし、単純に、B=○、とはし難い……
なお、天気図は、低緯度地方はメルカトル図法、中緯度地方は2標準緯線ランベルト正角円錐図法(緯度30度と60度が標準緯線)、高緯度地方は平射図法で作成されている。

問 2 ②

常識問題
②=×←(∴)-人口は探査できない

問 3 ⑤

図に面喰らうが、普通に時差計算すれば良い
東京(135°E)とサンフランシスコ(120°W)の時差は17時間
東京の18時はサンフランシスコの1時
9時間の飛行時間だからサンフランシスコの1時は東京の10時

問 4 ③

基本問題
J=シ←(∴)-水系 密
K=サ←(∴)- " 中間
L=ス←(∴)- " 疎

問 5 ②

基本問題
②=×←(∴)-扇状地面なので後背湿地は分布しない

問 6 ⑤

基本問題
X=—=冷帯←(∴)-最寒月-3°C未満、最暖月10°C以上

Y = ---- = 温帯 ← (∴) - 最寒月 - 3℃以上

Z = ---- = 寒帯 ← (∴) - 最暖月 10℃未満

問 7 7 ②

基本問題

② = × ← (∴) - 大嘘、①・③・④ = ○ は明白

問 8 8 ③

基本問題

③ = × ← (∴) - 写真はサバンナ景観

地理 A 第 2 問 (配点 21 点、各 3 点)

正解 解説 etc.

問 1 9 ②

常識問題

② = × ← (∴) - 農水産物 → 工業製品

問 2 10 ①

常識問題

B = パナナ ← (∴) - フィリピン

C = ワイン ← (∴) - フランス・イタリア

A = オレンジ

問 3 11 ②

A = 成田 ← (∴) - 北アメリカへの乗り継ぎが 1 位

I = クアラルンプール ← (∴) - " 図示されていない

問 4 12 ②

基本問題

P = インド ← (∴) - イギリスはインドの旧宗主国

Q = フランス ← (∴) - ワロン語はフランス語の一方言

R = ブラジル ← (∴) - ポルトガルはブラジルの旧宗主国

問 5 13 ②

常識問題

② = × ← (∴) - 出入国や移民の手続きが容易になった事実はない

問 6 14 ②

基本問題

Y = 中国 ← (∴) - 繊維工業 59.5%

X = アメリカ ← (∴) - 輸送用機械が 18.0%

Z = EU ← (∴) - " 9.6%

問 7 15 ③

③ = × ← (∴) - 大嘘、①・②・③ = ○ は明らか

地理 A 第 3 問 (配点 22 点、21 が 4 点、他は各 3 点)

正解 解説 etc.

問 1 16 ④

基本問題。間違えようがない(?)

経緯線は 5 度間隔だから、A = 70° E、I = 75° E、U = 80° E、E = 85° E。

④ = ○ ※地図帖に親しんでいれば簡単だが……

	都市	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	緯度経度
080	New Delhi (211m) (28° 35' N, 77° 12' E)	14.1	17.4	22.7	28.9	32.7	33.2	31.4	30.3	29.6	26.0	20.5	15.5	25.2°C	1981-2010
		20.8	25.4	16.2	13.1	31.8	87.9	187.0	232.4	117.6	16.3	6.6	12.6	767.7mm	1981-2010
083	Bombay (9m) (18° 54' N, 72° 49' E)	24.9	25.3	27.1	28.9	30.5	29.3	27.8	27.4	27.8	28.9	28.4	26.5	27.7°C	1981-2010
		0.9	0.3	0.9	0.6	15.6	518.0	729.3	505.1	315.1	82.2	12.1	1.8	2181.9mm	1981-2010
084	Chennai (13m) (13° 00' N, 80° 11' E)	25.2	26.6	28.7	30.9	32.9	32.4	30.9	30.3	29.8	28.4	26.5	25.3	29.0°C	1981-2010
		30.9	23.8	11.2	19.1	53.3	80.7	105.9	136.1	151.9	298.4	382.0	158.0	1451.3mm	1981-2010

(『理科年表 2012 (H24)』)

問 2 17 ①

カ = チェンナイ ← (∴) - 11月に降水量多い ← (∴) - 北東季節風の影響

キ = デリリー ← (∴) - 降水量が一番少ない ← (∴) - B S

- ク=ムンバイ ←(∴)-モンスーンの爆発←(∴)-Aw
- 問3 18 ④ 基本問題。中学生でも正解可能
④=×←(∴)-アッサムはモンスーンの風上斜面で降水量は多い
- 問4 19 ②
①=日本 ←(∴)-生産量が4ヶ国中一番多い
②=インド ←(∴)-2000年代中頃より生産量急増
③=韓国 ←(∴)-1970年代より一貫して生産量増大傾向
④=フランス←(∴)-生産量漸減傾向
- 問5 20 ③ 常識問題。中学生でも正解可能
③=○
- 問6 21 ④ 基本問題
チ=M=デリー ←(∴)-放射環状路
ツ=K=イスラマバード←(∴)-直交路
タ=L
- 問7 22 ④ 基本問題
④=×←(∴)-都市住民の方が平均所得は高い
①・②・③=○、は明白

地理A第4問 (配点15点、各3点)

正解 解説etc.

- 問1 23 ②
③=スウェーデン←(∴)-吊鐘～壺型
④=タンザニア ←(∴)-富士山型
①=中国 ←(∴)-30歳未満層の比率低下←(∴)-一人っ子政策の影響
②=ブラジル ←(∴)-富士山型から吊鐘型への移行途中
- 問2 24 ①
①・④=ドイツ・ハンガリー←(∴)-失業率が高い
②・③=韓国・日本 ←(∴)- " 低い
①=ドイツ ←(∴)-製造業における1時間当たりの賃金が高い
④=ハンガリー←(∴)- " 低い
②=日本 ←(∴)- " 高い
③=韓国 ←(∴)- " 低い
- 問3 25 ① 基本問題
①=×←(∴)-オランダは地熱エネルギーには恵まれていない
- 問4 26 ③
③=×←(∴)-西半球→東半球
- 問5 27 ② 常識問題
X=S A A S
Y=地震・津波
Z=サイクロン

地理A第5問 (配点18点、各3点) 地理B第6問との共通問題 (配点は違う)

正解 解説etc.

- 問1 28 ③
③=徳島平野
②=広島平野
①=出雲平野
④=富山平野

問 2 29 ⑤

ア = ▲ = 徳島 ← (∴) - 冬季の日照時間が多い
 ウ = × = 会津若松 ← (∴) - " 一番少ない ← (∴) - 降雪の影響
 イ = ○ = 宮古島市 ← (∴) - 7月の日照時間が多い ← (∴) - 梅雨が明けている

都 市	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	経過期間
会津若松市	78.5	98.8	138.2	172.7	193.6	161.9	159.9	198.7	132.1	121.5	86.8	70.7	1613.2時間	1981-2010
徳島市	157.5	150.2	171.2	192.9	196.8	157.9	195.2	230.4	159.9	166.7	150.8	163.2	2092.9時間	1981-2010
宮古島市	86.4	82.6	112.0	123.2	151.1	191.9	246.7	220.5	184.6	153.8	112.0	101.3	1766.2時間	1981-2010

(気象庁、過去の気象データ検索より作成)

問 3 30 ①

- ① = × ← (∴) - 図西部の黒崎辺は水田が住宅地に変化
- ② = ○ ← (∴) - 小鳴門橋
- ③ = ○ ← (∴) - 工場や競艇場
- ④ = ○ ← (∴) - 航路 3 → 2

問 4 31 ④

カ = A、キ = B
 サ = A、シ = B

問 5 32 ③

基本問題、中学生でも正解可能
 タ = 高速バス ← (∴) - 開通後増加
 ツ = 船舶 ← (∴) - " 急減
 チ = 航空機

問 6 33 ②

② = × ← (∴) - 写真ではどこから進出したかは判読できない

※①大問数は、8年連続で地理Aは5問、地理Bは6問。この形式が当分続くと思われる。

- ②解答数 2013年度 地理A : 33問、地理B : 35問
- 2012年度 地理A : 33問、地理B : 35問
- 2011年度 地理A : 35問、地理B : 35問
- 2010年度 地理A : 36問、地理B : 36問
- 2009年度 地理A : 36問、地理B : 37問
- 2008年度 地理A : 36問、地理B : 36問

- ③昨年はA・B共通問題の配点がAとBとで同一設問で初めて異なったが、今年も同様に配点が異なった。
- ④2008・2009・2010・2011・2012・2013年度と、6年連続で複数解答問題が皆無。
- ⑤地形図読図は、共通問題の地域調査分野で定着。
- ⑥外国地形図は今年も無し(11年連続)。著作権等の関係で今後の出題は無いか(?)
- ⑦写真・図表を使った問題は、地理A・地理B共相変わらず多い。統計集に親しむことが必要。
- ⑧地図でおさえる、地図帳に親しむ、という学習が必要。
- ⑨教科書の図表に親しむ、という学習も必要。
- ⑩地理B(A)履修・受験者は、地理A(B)の過去問に目を通しておくことが必要。